

第 15 回 燃料デブリ取り出し専門委員会 議事要旨

日 時：平成 29 年 1 月 26 日（木） 15：00～17：00

場 所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 大会議室

1. 第 14 回燃料デブリ取り出し専門委員会 議事要旨（案）確認

NDF より、2016 年 12 月 20 日に開催された第 14 回燃料デブリ取り出し専門委員会の議事内容を記載した議事要旨について確認した。

2. 「号機毎の燃料デブリ取り出し方針の決定」に向けた戦略的提案のまとめ方

NDF より、燃料デブリ取り出し方針の決定に関する戦略的提案のまとめ方について説明した。

3. 燃料デブリ取り出しに係る安全確保の考え方（案）

NDF より、燃料デブリ取り出しに係る安全確保の考え方について説明した。

専門委員からの主な意見は以下の通り。

- 基本安全原則から安全要求を展開する際に、オブジェクティブ・ツリーといった系統的な整理方法などを用いて、安全対策に抜け落ちが無いようにすべきである。
- 燃料デブリ取り出し作業時の線量基準の策定にあたっては、これまでの線量基準が福島第一の事故以降、サイトの状況の変遷に応じて社会的合理性も議論されて決定されてきているものであることを踏まえ、そうした観点からも議論するべきである。

4. 燃料デブリ取り出し時の安全系システムの検討状況について

IRID より、燃料デブリ取り出し方針の決定に関する要件に関連する、工法実現性の評価に関する検討の現状について説明した。

専門委員からの主な意見は以下の通り。

- 安全系システムの検討を行うにあたっては、多層システムの実現のみを手段とせず、リスク源の特徴を踏まえて、燃料デブリ取り出し作業がもたらす被ばく事象のリスク（規模と発生確率）を小さくするのに最も合理的な手段を組み合わせたシステムを目指すべきである。
- 安全系システムの検討を行う際の前提条件については、今後の調査で得られる燃料デブリの分布・性状等の情報を取り入れて、常に最新のものにしていくべきである。

5. 燃料デブリ取り出し方針に向けたリスク評価

NDF より、燃料デブリ取り出し方針の決定に資するリスク評価のうち、燃料デブリに関するリスク評価の検討状況について説明した。

専門委員からの主な意見は以下の通り。

○リスク低減効果をデブリ性状の観点から評価したのは良いことだが、今後は作業環境によりデブリの性状や分布が変化することも踏まえて、方針のトータルなリスク像を手に入れることを目指して検討を継続するべきである。

以 上